



道又秀悦議員

産業振興

産業活性化を図るための計画

来年9月までに取りまとめを依頼

質問 「山田町産業活性化推進協議会」を立ち上げ、来年にかけて第1次産業を基盤とした地域活性化策を検討することであるが、協議会の組織と今後の計画は。

沼崎町長 組織の委員は、岩手県立大学総合政策学部遠藤昌雄教授と町内から水産加工業者2人、養殖漁家4人、耕種農家3人、酪農家1人、繁殖牛飼育農家1人、農産物加工組合員1人、特用林産物生産者1人、金型部品製造業者1人、プラスチック加工業者1人、マリン・ツーリズム代表者1人、特産品販売協同組合従

事者1人、商業者1人の合計19人であり、現役で活躍している方に委嘱している。これからの計画については、来年の9月をめどに具体的な産業活性化策の取りまとめをお願いしている。

会議を開催するときには、委員長の遠藤教授から会議開催前に、話し合いのテーマ・方向性・必要な資料の準備などが示されているので、今後も委員長と調整を図りながら進めていきたい。また、必要に応じて専門部会を設置しながら、産業の活性化策について、大いに議論を重ねて検討してもらいたいと考える。

施設整備

町立図書館の整備 基本的役割果たす施設に

質問 「町立図書館」の整備については、旧県立山田病院の敷地建物の購入を前提に県医療局との交渉を進め、平成21年度を目指して整備することのこと。町民はこれまで不便を感じてきたが、

ようやく解消されることは、大変喜ばしい限りである。については、どのような図書館にしたいと考えているか。沼崎町長 平成15年5月の三陸南地震により、図書館は使用不能との指摘を受け、

緊急措置として「中央コミュニティセンター」に移転した。しかしながら、本棚の設置や閲覧室として利用できるスペースが少なく、蔵書のすべてを配架できないことや閲覧場所がないなど、利用者には不便をかけた。目指す図書館は、町民の身近にあつて利用しやすく、学習に必要な図書や資料、情報を収集整理し、生涯学習を進める上で最も基本的な役割を果たすことができるものにと考えている。

議員12人が一般質問



旧図書館内にある蔵書は、予約して借りることができます